

令和元年 11月 5日
(2019年)

保護者の皆様

吹田市立東山田小学校
校長 大森 亘

平成31年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月12日に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

なお、今年度よりA（「知識」に関する内容）・B（「活用」に関する内容）問題が一体化されて実施しています。

1. 教科に関する調査の分析

国語 << 概要 >>

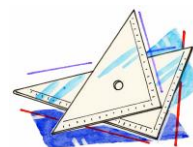
- ・無回答率が全国値に比べて低い。14の設問中5問が無回答率0%であった。
(積極的に解答している。)
 - ・選択式はもちろんのこと、記述式問題に対しても必ず解答するという意識が高い。
- <話すこと・聞くこと>
- ・正答率は全国値を上回っている。
- <書くこと>
- ・正答率は全国値を上回っている。
 - ・主語と述語とのつながりが理解できていない児童が見受けられた。
- <読むこと>
- ・正答率は全国値を上回っている。
- <伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項>
- ・正答率は全国値を上回っている。
 - ・相手や場面に応じて適切に敬語を使う問題は、全国値を上回っている。
 - ・漢字を文の中で正しく使う問題では「限らず」は非常に正答率が高いが、「対象(正)」を「対称(誤)」と回答した児童が多くみられた。調査当時に、算数で「線対称」を学習をしていたことから誤った回答をしたと考えられる。



★国語科における今後の指導改善点について

- ・同音異義語について注意するなど、漢字の持つ意味を考えて文や文章の中で正しく使うことができるように、漢字辞典を積極的に使い、漢字の読み意味などを自分で調べる学習活動をより多く取り入れていきます。
- ・接続語を使って、一文を二文に分けて書くことについて、文の構成や接続語の役割を理解し、伝えたい事を条件に合わせて書く練習を積み重ねていきます。
- ・問題の要旨をとらえて、短時間で必要な情報を把握できるように日ごろから意識させることや登場人物の考えを要約する機会を授業の中で数多く取り入れていきます。

算数 ≪ 概要 ≫



◎算数

- ・正答率はすべての領域において全国値を上回っている。
- ・無回答率が全国値に比べて低い。14 の設問中 8 問が無回答率 0%であった。
(積極的に解答している。)

<数と計算>

- ・全国値を上回っている。
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質について記述する問題の正答率が全国値を上回っているものの、正答率が 42.9%と低い。

<量と測定>

- ・全国値を上回っている。
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる問題の正答率が、全国値を大きく上回っている。

<図形>

- ・全国値を上回っている。
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する問題の正答率が、全国値を大きく上回っている。



<数量関係>

- ・全国値を上回っている。
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算や示された除法の式の意味を理解する問題の正答率が全国値と同様に低い。

★算数科における今後の指導改善点について

- ・問題文をよく読み、どのような解答の仕方が求められているのかを読み解く時間を授業の中で取り入れていきます。
- ・単に計算の仕方を覚えて習熟に力を入れるだけでなく、図や数式、言葉などの決められた条件を基にして、求め方や文に表す機会を増やしていきます。
- ・授業の中で、自分の考えを説明したり、他の児童の代わりに説明したりするなど、式の意味を説明し合う活動を取り入れていきます。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

*学習

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問に対して、全国値 74%に対して 86%と高い回答をしています。
- ・「授業で学んだことを他の学習に生かしていますか」の質問に対して、全国値 83%に対して 91%と高い回答をしています。
- ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に対して、全国値 78%に対して、88%と高い回答をしています。
- ・「国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしていますか」の質問に対して、全国値 74%に対して、70%とやや低い回答をしています。
- ・「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」の質問に対して、全国値 82%に対して、89%と高い回答をしている。

*話し合い活動

- ・「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、お互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか」の質問に対して、全国値 78%に対して 88%と高い回答をしています。
- ・「自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表したいと思いますか」の質問に対して、全国値 63%に対して 74%と高い回答をしています。

*生活習慣

- ・「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、全国値 86%に対して 94%と高い回答をしています。
- ・「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に対して、やや課題のある回答をしています。早寝・早起き・あさごはんは、生活リズムの基本です。今後も学校と家庭が連携して生活改善に取り組んでいきたいと思ひます。

*規範意識

「学校のきまりを守っていますか」の質問に対して、全国値 92%に対して 96%と回答をしています。本校児童は、休み時間は4階からでも運動場に出て、所狭しと遊んでいます。そして、チャイムが鳴るとさっと遊びをやめて教室へ戻ることができています。

*自尊感情

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、全国値 81%に対して 95%と非常に高い回答をしています。同様に「将来の夢や目標を持っていますか」「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の質問に対しても高い回答をしています。全国的に子どもたちの自尊感情が低いといわれて久しいですが、本校につきましては昨年度同様に、自尊感情や自己肯定感が高いことがわかります。自分を大切に思う気持ちが、他者を思いやり尊重する気持ちにつながります。引き続き、互いに尊重し認め合う集団の中で、さらに自分に自信をもてるような働きかけを行い、次の挑戦への活力となるように取り組んでいきます。

- ・「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して、全国値 86%に対して 92%と高い回答をしています。子どもたちの取り巻く環境は様々な課題がありますが、学校・家庭・地域で温かく育まれていることがうかがえます。

*友だち

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけない」の質問に対して、ほぼ全員（99.5%）がいじめに対してあってはいけないと回答をしています。毎学期実施している「いじめに対するアンケート」から見えてくる子ども一人一人の思いを正確に把握し、必要に応じて迅速に対応していきます。
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対して、全国値 88%に対して 97%と高い回答をしています。

*家族

「家の人と学校での出来事について話をしますか」の質問に対して、全国値 77%に対して 88%と高い回答をしています。話を聞いてくれる家族であることは、子どもの成長を支援する上で大切なことです。昨年度も同様の結果であったので、家庭が安心できる場であると言えます。

*地域行事への参加

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対して、全国値 68%に比べて 54%と低い回答をしています。地域の安心安全の観点からも、顔と名前が一致できるよう、積極的に地域行事に参加できるよう声かけをしていきます。

3. 今後の取り組み

学習面では、記述問題においても無回答率が低く、最後まで答えを書こうと努力していた前向きな学習姿勢がうかがえます。そんな前向きな児童に対して、教員自身の授業力を向上させ、どの子もわかる楽しい授業づくりに努めてまいります。

また、計画的な家庭学習のあり方については、本校が取り組んできている「まなびタイム（3年生以上で取り組んでいる自学自習の時間）」を今後も継続して取り組み、自分で学習の計画・実行・振り返りができる子どもたちに育んでいきたいと思っております。ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習の定着にご協力をお願いいたします。

生活面では、「いじめは絶対にいけないことだ」との認識を持っている児童が大半ですが、より一層意識を高めていくために、人権教育、道徳の授業等を充実させ、いじめを許さない心を醸成していきます。また、千里丘中学校ブロック幼小中による系統的で継続性のある授業規律、生活規律の確立をめざし、明るく元気に学校生活を過ごせるように指導していきます。

保護者の皆様には、今回の分析結果を踏まえた学校の取り組みについてご理解ご協力をいただきまして、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。